

# オンデマンド研修 4回シリーズ

参加費  
各話3,300円  
(税込)

## 知的障害・発達障害のある人への「対話」を通じた就労支援～合理的配慮に着目して～

これまでわたしたちが取り組んできた調査から、組織（企業等）と障害者の相互理解を促進するためには「対話」（ダイアログ）が有効であることが明らかになりました。本研修では、知的・発達障害のある人の合理的配慮や合理的配慮をめぐる対話について、当事者と組織といった両者の視点から理解を深める内容になっています。

### こんなお悩みありませんか？

- 組織（企業）と被支援者を上手くつなげられない。
- 就労先でスムーズに働きやすくなるように相互の理解を促したい。
- 合理的配慮をしてもらい、強みを発揮できるようにサポートしたい。
- 就労支援について具体的にどのようなサポートをしたら良いのか知りたい。



動画の公開の順番を  
変更いたしました。

### Program 各話45分～50分程度

01

#### 就労支援に必要な「対話」

中尾文香氏 NPO法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事  
「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」を目指し、特に、障がい者が社会の中で役割があって働きがい得られるよう、障がい者と社会をつなげる活動を行う。企業や就労支援事業所等に対して障がい者雇用・就労コンサルや研修等を実施。社会福祉士。博士（社会福祉学）。

02

#### 就労支援事業所における「対話」-具体的な支援について-

1. 濱松若葉氏 津田塾大学 学芸学部 国際関係学科 助教  
本質的な仕事参加を可能にする合理的配慮のあり方や、「能力」観について関心を持ち、障害就労現場でのフィールドワークを続けている。
2. 仲本 順子氏 株式会社ソルファコミュニティサービス管理責任者  
ミッションである「共に楽しみ、共に成長し、共に新しい未来を造る」を実現するために、障がいのある人の人間的・社会的・職業的成長を促進するための支援を考えながら実践している。

03

#### 職場で相互理解を促す「対話」とは

片山優美子氏 長野大学社会福祉学部教授  
博士（社会福祉学）。精神保健福祉士・社会福祉士。国立の精神保健研究所で、重度精神障がい者の社会復帰に関する研究に従事。地域の機関での相談や病院でのアウトリーチの実践経験も持つ研究者。

04

#### 強みの発揮につながる合理的配慮

高橋亜矢子氏 株式会社プーカーミドルマネージャー  
作業療法士、訪問型職場適応援助者。民間企業、就労移行支援事業所等を経て、2021年より現職。民間企業の障害者雇用課題の解決に向けて、支援サービス企画及び、マネジメント支援、当事者への個別相談支援、業務遂行支援サービスを統合的に提供している。

### 配信期間

10.15(火)～12.16(月)

11.15(金)～1.20(月)

01 就労支援に必要な「対話」

03 職場で相互理解を促す「対話」とは

02 就労支援事業所における「対話」

04 強みの発揮につながる合理的配慮

-具体的な支援について-

### 受付期間

チラシがお手元に届いた時点からお申し込み頂けます。

各話配信中はお申込み可能ですが、配信期間の延長はございませんのでご注意ください。

### 障害のある子どもの相談支援に関するオンデマンド研修を企画中

児童福祉法の改正で、児童発達支援センターに地域支援の中核機能が付与され、障害児及び家族への相談支援の重要性は高まっています。日本発達障害連盟では、新企画として相談支援をテーマに、今年度はまず秋ごろにオンデマンド研修（4回シリーズ）を行う予定です。内容は、相談支援に携わる人だけでなく特別支援教育コーディネーターや教師・支援者にも参加いただける内容にするべく、最前線で活躍している相談支援専門員や療育関係者に講師を迎える予定です。ご期待ください。

①障害児の相談支援とは何か【基本を知る】②障害児の相談支援の実際【実際を知る】・こどもと家族に寄り添う相談支援 [未就学児の保護者の相談支援、学齢以降の本人の相談支援]・通所支援事業所での相談支援 [中核的地域支援機能、入口相談を含む]③教育と福祉の連携における相談支援の役割と実践【連携を知る】



公益社団法人日本発達障害連盟 セミナー担当

03-5814-0391



### お申し込み方法

当連盟ホームページよりお申し込ください。

🔍 日本発達障害連盟 オンデマンド 対話 ✕